

# 立民代表に泉氏



発行所

山形新聞社

〒990-8550  
山形市旅籠町2-5-12

総合案内 023(622)5271  
読者センター 023(622)5666  
(平日9時30分～17時30分)

(c)山形新聞社2021

2021年  
11月30日  
〈火曜日〉

電子  
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた  
ニュースオンライン  
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ  
yamagata-np.jp  
/mobile/



詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

## 決選投票 逢坂氏を破る

立憲民主党は30日、代表選の投票の結果、泉健太政調会長(47)を選出した。泉氏が1回目の投票で1位だったものの、過半数に達せず、2位の逢坂誠二元首相補佐官(62)との決選投票を実施。泉氏が勝利した。任期は2024年9月末まで。来年夏の参院選に向け、野党第1党の再生を急ぐ。共産党などとの野党共闘の在り方も課題となる。



立憲民主党の新代表に選出され、笑顔を見せる泉健太氏  
=30日午後、東京都内のホテル

決選投票は泉氏が205ポイント、逢坂氏は128ポイントだった。泉氏は直ちに幹事長など党役員人事の検討に着手し、新執行部を発足させる。岸田政権が12月6日に召集する臨時国会や、来年の通常国会で反転攻勢を目指す意向だ。

党員らが参加した代表選は昨年9月の党結成後初めて。衆院選敗北で引責辞任した枝野幸男前代表の後任を選ぶため、11月19日に告示された。

小川淳也元総務政務

官(50)、西村智奈美元厚生労働副大臣(54)を含め、4人が立候補した。1回目の投票結果は泉氏189ポイント、逢坂氏148ポイント、小川氏133ポイント、西村氏102ポイントの順だった。

泉氏は現実的な原発ゼロ社会の実現や、外交・安全保障を掲げ「政策立案型政党への転換」を訴えた。党執行役員への女性の積極起用や、野党合同ヒアリングの見直しを主張した。泉氏は衆院京都3区選出で当選8回。旧希望の党と旧国民民主党の国対委員長、旧国民では政調会長を歴任した。

購読・試読の

お申し込みはー

フリーダイヤル

0120-81-8040